

岐阜薬科大学紀要

第 5 号

昭和30年11月30日

THE ANNUAL PROCEEDINGS OF GIFU COLLEGE OF PHARMACY

No. 5 1955

目 次

研 究 報 告

トリテルペノイドの研究 (第1報)

トリテルペンの呈色反応について……………嶋野 武, 滝 和子, 東 光男… 1
刻木通の異物について……………嶋野 武, 野村新太郎, 山川和男… 4

トリテルペノイドの研究 (第4報)

濾紙微量電気泳動法によるトリテルペノイドの検討……………嶋野 武, 水野瑞夫, 井上純男… 7
スチルベン系アゾ色素によるマグネシウムの検出について……………長瀬雄三, 松本 潮…12
局所麻酔剤の研究 (第2報)

アルコオキシナフチルアミン誘導体について 其の2……………横山復次, 岩田清法…19
ジフェニールアセトンの合成……………千田重男, 兼松 顕, 本多 真…20

キノン系化合物の抗菌性作用機序に関する研究 (第5報)

キノン系化合物の化学構造と抗菌性 (その3) ペンゾキノン機能誘導体の化学構造
と抗菌性……………広瀬一雄, 北村二郎, 小瀬洋喜, 三島としえ…24
有機化合物の生化学的還元 (第1報) ……広瀬一雄, 小瀬洋喜, 北村二郎, 山中好子…26

p-Aminothiobenzamide 誘導体の抗菌性 (第1報)

合成と試験管内抗菌力試験……………奥田高千代, 北村二郎, 味香喜代子…29

p-Aminothiobenzamide 誘導体の抗菌性 (第2報)

Resting Cell の呼吸に対する影響……………北村二郎, 奥田高千代…33

配置家庭薬の現況について……………吉田甚吉…35

Das moderne System in der Theorie des Artikels ……河 辺 実…43

抗菌性物質としてのキノン系化合物に関する研究……………小瀬洋喜…46

ポリリン酸の存在におけるカルボン酸による石炭酸のアシル化に関する研究……………楠田貢典…60

ポリリン酸の存在における置換安息香酸による石炭酸のアシル化に関する研究……………馬場茂雄…71